

2022年5月23日

株式会社Fast Fitness Japan
取締役会御中

株式会社Fast Fitness Japan
従業員有志一同

株主提案に対する反対意見

当社が、当社の取締役会長であり株主でもある大熊章氏、同氏が代表を務める当社の株主である株式会社オーク、及び当社の監査等委員である取締役であり株主でもある高嶋淳氏の3者連名により、2022年6月開催予定の第12回定時株主総会における議題について、株主提案を行う旨の書面を受領した、という非常事態が発生していることを受け、我々株式会社Fast Fitness Japan従業員有志一同は、大変な危機感を抱いております。

そこで、当社本部長全員及び部長並びに室長全員の計21名のうち、当社取締役会が選任を予定している取締役（監査等委員である取締役を含む）候補者となっている2名、及び株主提案において監査等委員である取締役候補者となっている1名の計3名を除く18名に対し、株主提案と当社取締役会によって決定された会社案のどちらに賛成か、無記名による投票を実施いたしました。

その結果は以下のとおりであり、株主提案に賛成する本部長、部長及び室長は1名もおりませんでした。

会社案に賛成 : 16名
株主提案に賛成 : 0名
棄権 : 2名

当社は、2022年4月よりプライム市場に移行しましたが、従業員も一丸となって、当社がプライム市場上場企業に相応しい企業となるよう、日々業務に励んでおります。そのような状況の中、当社の大熊会長及び高嶋監査等委員が、指名報酬委員の答申を踏まえた取締役会の決定と異なる独自の株主提案を行うという当社のガバナンスに反する行動をとられたことに対し、大変驚くとともに、大いに失望し、そして同じ会社に所属する者として大きな動揺を覚えております。

当社は、「ヘルシアプレイスをすべての人々へ！」という企業理念を掲げておりますが、会員の皆様を始めとするステークホルダーの皆様にヘルシアプレイスを提供するためには、まずは、当社自身がヘルシアプレイスであって欲しいと願っています。そのためには、プライム市場上場企業として相応しいガバナンスが適正に機能していることは、基本中の基本であると考えております。

今回、もし本部長、部長及び室長の誰一人として賛成していない株主提案が株主総会において可決され、会社提案が否決されるという事態になれば、そのような会社は到底ヘルシアプレイスと呼べるものではないものになってしまうと危惧しております。大熊会長及び高嶋監査等委員には、改めて当社の企業理念を思い出して頂き、潔く会社提案に従った行動をとって頂くことが、我々従業員有志一同の願いであることをご報告させていただきます。

なお、この従業員有志一同による反対意見は取締役会に対して提出させていただきますが、当社従業員有志一同の考えを株主を含む当社のステークホルダーの皆様にも知って頂きたい、会社を通じて広く周知して頂くことを希望致します。

以上